

(一) 絶句

新年祝いの詩

木村岳風

初夢月 迎元 旦の 天
 と 蘇一 献心身 朗
はっゆめ まどら かにむこ かんたん てん
 と そ いっこん しんしん ほから かに

晓風 飒爽 旭旗 翻
 吟起 新春 正气 篇
ぎょうふう さつそう きびく びるがえ
 がん おこ しんしゅん の せい き へん

【作者】木村岳風（一八九九〜一九五二年）（明治三十二〜昭和二十七年）、本名・松木利次、信州諏訪湖畔、上諏訪町に姉3人、弟3人の長男として生まれた。尋常高等小学校時に、「吃音」を矯正するため、姉から詩吟の手解きを受け、幾多の苦難のすえ、本格的に詩吟を始めたのが一九二二年・二十二才のときであった。全国詩吟奨励行脚を行い、詩吟の普及活動を行うと共に、全国に残る詩吟を研究し独自の吟法を確立した（一九二七年〜一九四三年、二十八才〜四十四才）。「日本詩吟学院」を東京九段に創設した。（一九三六年）近代吟詠の祖といわれる。享年五十二才